

JSCASUP ベーシック 報告書

■報告日 2019年5月15日(水)

■報告者 中村昭彦

■実施日 2019年5月15日(水)

■実施会場 (技術)野尻湖菅川地区(長野県上水内郡信濃町)

■主管 一滴 Paddle & Mountain Guide

■担当トレーナー/担当講師

中村昭彦(一滴 Paddle & Mountain Guide)

■受験生 3名(全員三重県)

合格予定者3名

■当日の天候 日差しがで、20℃弱。微風

■開催の経緯

JSCA 公認スクールのスタッフに対して、検定会の依頼があり開催しました。アシスタント登録をしている準会員に対して、カヤックと SUP のベーシックの検定を、既に一般会員の資格を所持しているスタッフに対しては知識課目免除の SUP ベーシックの検定を行いました。

■漕艇技術&フィードバック

皆、しっかりとボードを動かすことができていました。検定後のフィードバックでは、それぞれの種目で気になった箇所や基本的な考え方を伝え、指導法とも結び付けられるよう意識しました。

■指導法&フィードバック

それぞれが1種目ずつを行いました。受験生が普段使用するフィールドではない場所でも、工夫をしながら模擬講習を行っていました。フィードバックでは全員同じスクールに所属しているので、自分たちの活動を振り返りながら、今後のより良い指導を検証していました。

■安全講習

ガイド装備に関して、いろいろと考えてもらいました。自分たちのツアーで想定されるトラブルに対するガイド装備の必要性に注意しました。牽引では、こちらで制約をかけた方法を考えてもらい、それぞれがやってみたあとで、お互いにメリット・デメリットを話し合いました。どんな方法をしないといけないかではなく、どんな方法が考えられるかが重要であると伝えました。

■総括

フィードバックや安全講習には時間をしっかりと取りました。考える力を作ってもらうためにも、意見を出し合い、実践し検証する流れで極力進めていきました。